

塩に関連する統計情報を更新しました。

公益財団法人塩事業センター（東京都品川区、理事長：津田 健）では、調査研究等事業の一環として、塩の生産量や消費量などに関する各種の統計情報を取りまとめ、Web サイト上で公開しています。

このたび、Web サイト上の統計情報を最新のものに更新しましたので、お知らせします。

【要旨】：

- 令和 3 年度の日本の塩の供給量は 8,400 千トン（対前年比 109.1%）
- 令和 3 年度の日本の塩の需要量（消費量）は 8,573 千トン（対前年比 109.3%）
- 令和 3 年の 1 世帯当・年間の塩の購入数量は、1,476g（対前年比 83.0%）
- 2020 年の国別の塩の生産量第 1 位は中国、第 2 位はアメリカ、第 3 位はインド。日本は第 38 位。
- 日本の塩の自給率は 11% で主要生産国に比べて低い。ただし食用の消費量程度は自給。

詳細については、当センター公式サイト以下の URL にて公表しています。

- ・ 「統計・各種調査」内の「統計データ」のページ

<https://www.shiojigyo.com/study/toukei/>

- ・ 「塩百科」内の「数字で見る塩」のページ

<https://www.shiojigyo.com/siohyakka/number/number.html>



統計・各種調査

塩に関するさまざまな統計・調査データをご紹介します。

数字で見る塩

さまざまな数字から世界と塩の関わりや食品と塩の関係、塩の消費量について、ひも解いていきます。



日本は何%？

- ① 世界の塩の自給率



一年間に何キロ？

- ② 家庭ではどれくらい塩を買っている？



ちょっと気をつけてみよう

- ③ どんな食品から塩を摂っている？



あれ？意外な割合

- ④ 日本の塩の用途別消費量

【更新した統計データの概要】

1. 日本の塩の供給量、需要量（消費量）【出典：塩需給実績（財務省）】

令和 3（2021）年度の日本の塩の供給量は、国内産（財務大臣の登録を受けた事業者による国内製造数量）855 千トン（対前年比 97.8%）、外国産（財務大臣の登録を受けた事業者及び塩事業センターによる輸入数量（輸入された塩をもとに登録事業者により製造された塩を含む）7,544 千トン（同 110.5%）、合計 8,400 千トン（同 109.1%）でした。

また、需要量は、生活用（主に小売店を通じて販売され、家庭用および飲食店等において使用されるもの）122 千トン（対前年比 96.1%）、業務用（食料品その他の物資の製造、融冰雪用等に使用されるもの（ソーダ工業用を除く））1,977 千トン（同 117.8%）、ソーダ工業用（かせいソーダ、ソーダ灰等の製造に使用されるもの）6,474 千トン（同 107.2%）、合計 8,573 千トン（同 109.3%）でした。

【供給量】

登録事業者及び塩事業センターによる供給量

（単位：千トン）

	平成9年度 (1997)	平成10年度 (1998)	平成11年度 (1999)	平成12年度 (2000)	平成13年度 (2001)	平成14年度 (2002)	平成15年度 (2003)	平成16年度 (2004)	平成17年度 (2005)	平成18年度 (2006)
国内産	1,329	1,293	1,327	1,374	1,358	1,282	1,263	1,225	1,227	1,166
外国産	8,292	7,550	8,097	8,157	7,441	7,595	7,747	8,251	8,283	8,074
合計	9,622	8,844	9,423	9,531	8,799	8,877	9,009	9,476	9,510	9,240

	平成19年度 (2007)	平成20年度 (2008)	平成21年度 (2009)	平成22年度 (2010)	平成23年度 (2011)	平成24年度 (2012)	平成25年度 (2013)	平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)
国内産	1,138	1,132	1,095	1,122	978	925	929	928	938	928
外国産	8,001	7,570	7,000	7,469	7,066	6,720	7,063	7,129	6,845	6,789
合計	9,139	8,702	8,096	8,592	8,044	7,646	7,992	8,057	7,783	7,717

	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)
国内産	926	929	903	874	855
外国産	7,234	7,296	7,094	6,829	7,544
合計	8,160	8,225	7,997	7,702	8,400

【需要量(消費量)】

登録事業者及び塩事業センターが供給した塩の需要量(消費量)

（単位：千トン）

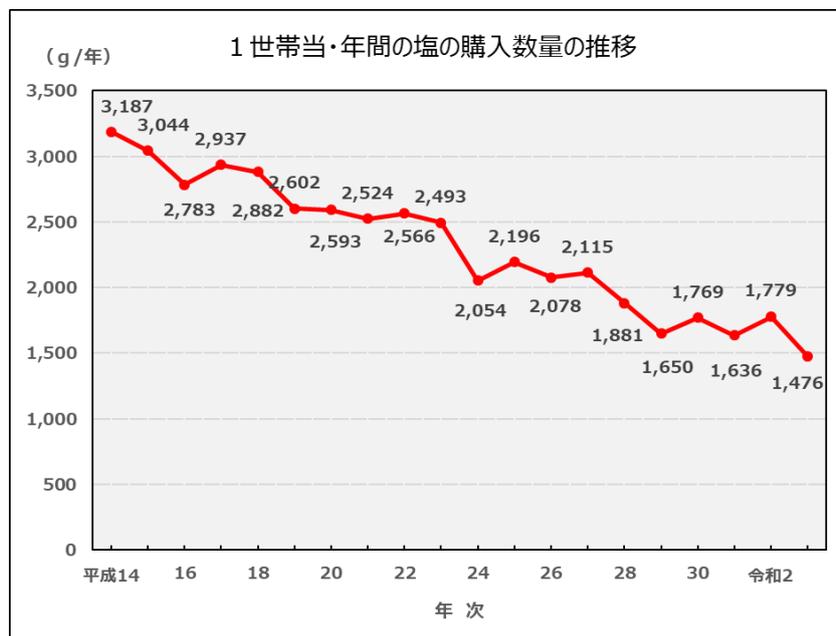
	平成9年度 (1997)	平成10年度 (1998)	平成11年度 (1999)	平成12年度 (2000)	平成13年度 (2001)	平成14年度 (2002)	平成15年度 (2003)	平成16年度 (2004)	平成17年度 (2005)	平成18年度 (2006)
生活用	308	283	277	259	237	247	243	221	220	216
業務用	1,507	1,516	1,587	1,639	1,546	1,739	1,768	1,804	1,923	1,661
ソーダ工業用	7,665	7,292	7,619	7,484	6,800	7,032	7,073	7,293	7,221	7,169
合計	9,479	9,090	9,483	9,381	8,583	9,017	9,084	9,318	9,364	9,045

	平成19年度 (2007)	平成20年度 (2008)	平成21年度 (2009)	平成22年度 (2010)	平成23年度 (2011)	平成24年度 (2012)	平成25年度 (2013)	平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)
生活用	196	202	210	213	188	188	189	179	166	164
業務用	1,712	1,762	1,805	1,828	1,803	1,848	1,929	1,834	1,727	1,790
ソーダ工業用	7,191	6,597	6,375	6,596	6,053	5,678	5,838	5,766	5,840	5,936
合計	9,099	8,561	8,389	8,637	8,044	7,714	7,956	7,778	7,733	7,891

	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)
生活用	154	147	135	127	122
業務用	2,073	1,700	1,524	1,678	1,977
ソーダ工業用	6,168	6,130	6,155	6,039	6,474
合計	8,394	7,976	7,815	7,845	8,573

2. 1世帯当の塩の購入状況【出典：「家計調査」(総務省)】

令和3年における1世帯当・年間の塩の購入数量は、1,476g(対前年比83.0%)でした。



3. 世界の塩生産量【出典：World Mineral Production 2016-2020 (BGS)、塩需給実績(財務省)】

2020年の世界の塩の生産量の上位3か国は、第1位・中国(63,000千トン)、第2位・アメリカ(38,610千トン)、第3位・インド(29,900千トン)でした。なお、日本は第38位(874千トン)でした。

[2020年塩生産量(国別)]

(単位：千トン)

1	中国	63,000	26	タイ	1,440
2	アメリカ	38,610	27	アルゼンチン	1,257
3	インド	29,900	28	カザフスタン	1,237
4	ドイツ	16,105	29	ベトナム	1,206
5	カナダ	12,386	30	ベラルーシ	1,198
6	オーストラリア	11,961	31	イタリア	1,193
7	チリ	9,574	32	オーストリア	1,178
8	メキシコ	8,086	33	ルーマニア	1,152
9	トルコ	7,698	34	ペルー	1,031
10	ブラジル	7,500	35	インドネシア	1,000
11	オランダ	5,701	36	フィリピン	993
12	ロシア	5,530	37	ボスニア・ヘルツェゴビナ	948
13	フランス	4,000	38	日本	874
14	パキスタン	3,950	39	モロッコ	850
15	スペイン	3,587	40	ナミビア	796
16	ポーランド	3,558	41	バハマ	640
17	ブルガリア	3,400	42	デンマーク	580
18	サウジアラビア	2,780	43	南アフリカ	538
19	イラン	2,600	44	ボツワナ	418
20	ジブチ	2,500	44	ボネール	400
21	イギリス	2,312	46	スイス	325
22	ウクライナ	2,000	47	韓国	323
23	エジプト	1,800	48	エリトリア	310
24	チュニジア	1,630	48	ガーナ	300
25	バングラデシュ	1,567	50	ベネズエラ	300

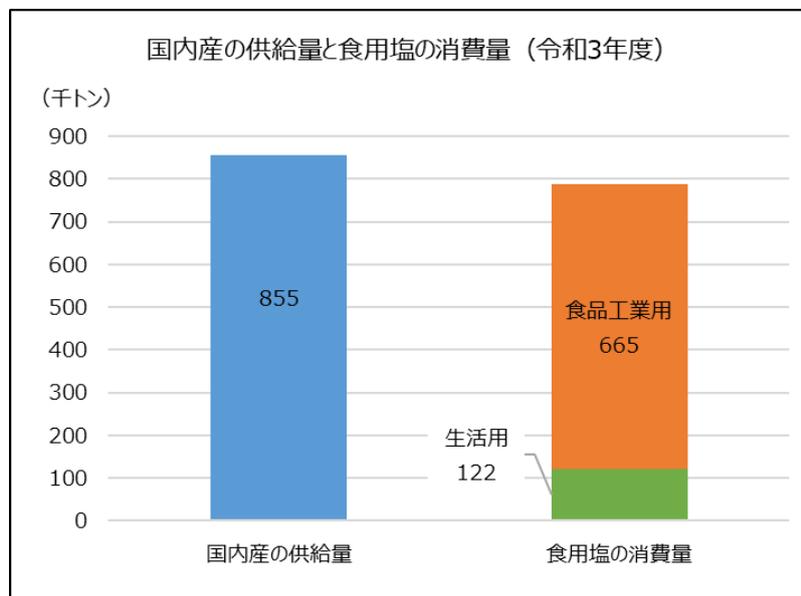
4. 世界及び日本の塩の需給【出典：World Mineral Production 2016-20 (BGS)、Global Trade Atlas、塩需給実績（財務省）、財務省貿易統計】

世界の主な塩の生産国について 2020 年の自給率を見ると、多くの国で 100%を超えていました。一方で、日本の塩の自給率は 11%でした。

2020年 国別生産量及び需給

順位	国名	生産量(千トン)	輸入量(千トン)	輸出量(千トン)	消費量(千トン)	自給率(%)
1	中国	63,000	5,949	1,152	67,797	93
2	アメリカ	38,610	24,275	1,272	61,613	63
3	インド	29,900	114	10,068	19,946	150
4	ドイツ	16,105	2,454	3,369	15,190	106
5	カナダ	12,386	2,460	5,934	8,912	139
6	オーストラリア	11,961	41	10,900	1,102	1,085
7	チリ	9,574	10	6,090	3,495	274
8	メキシコ	8,086	79	5,593	2,572	314
9	トルコ	7,698	12	500	7,210	107
10	ブラジル	7,500	1,350	1,471	7,379	102
38	日本	874	7,113	2	7,985	11
	世界合計	276,600				

ただし、これは、消費量の大半を占めるソーダ工業用塩のほとんどを輸入しているためであり、私たちの生活に最も大切な食用の塩（家庭等で消費されるもの及び食料品の製造に使われるもの）の消費量程度は、国内で自給できています。



なお、1日当たりの塩の摂取量などに関する調査である「国民健康・栄養調査」（厚生労働省）については、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2、3年は調査が中止されたため、データを更新することができませんでした。

当センターでは、今後とも、塩に関連する統計情報など、様々な情報発信を行って参ります。